Japanese Association of Educational Psychology

らどうか等の発言があり，また検討すべき刺激として横山（福岡教育大）から男性の顔，聴覚刺激，視覚刺激などが挙げられた．更に丹羽（東洋英和女子大）から，今後の研究の方向として刺激に表情や動きを加えてはどうか，まか反応に情緒を含めてみてはどうか，といった示唆があった．

（氏　森　理　子・桝　田　正　子）

208～212　発　　達

座長　玉　岡　　忍・津　守　　真

208 過程としての描画
—描画における精神発達の研究（6）
お茶の水女子大学　津　守　　真

209 描画における概念画について（1）
福　井　患　子

210 絵画にみる芸術家の美的判断と米国及び日本のこどもの好みとの比較発達研究
十文字学園女短期大学　○江　波　諄　子
The Pennsylvania State University　D. B. Harris
V. de Lissovoy

211 幼児の手の労働に関する発達心理学的研究
とくに手の発達と共同性について
徳　島　大　学　丸　山　尚　子
お茶の水女子大学　久　米　隆　子

212 音楽と造形との関係
—特に読譜力について—
共立女子大学　玉　岡　　忍

研究発表の後，各報告について，質疑応答および討論が一括して行われた．活発な意見の交換があったが，時間をかけて討論された問題について次に述べる．

○福井の報告と，津守の報告との，描画のとらえ方の相異および共通点について．また概念画とは何かということをめぐって討論が行われた．

○津守は内部からのとらえ方をし，福井は外部からのとらえ方をしている．また津守の例示した描画を福井はどう見るか．（大阪教育大，田中）

○福井の研究は，指導の観点からは，外部からのとらえ方であるが，自発性の観点からは内部からのとうえ方である．年令に応じて，描く技術を身につけさせることが必要である．（福井）

○教育の観点からは，福井のいう，概念画を描かざるをえない状態におかれることが多い．内面から描くことのべきるような教移法についてはどう考えるか．（日本福祉大　金田）

○一人の子どもがあることに没頭している場合と，そうでない場合とでは，外的には同じことをしているように観察されても，内的には大きな相違がある．教育心理学は，この問題をどう考えるかが課題である．（お茶の水女子大　津守）

○従来の保育や教育は，生きている子どもの状態をとらえることを忘れて，あるプログラムを行うことにとらわれているのではないか．本当の子どもの姿は何かを考え，それにふさわしいかかわり方を考えで，もう一度教育心理学を考え直していきたい．（日本女子大　山田）

○岡山の報告について，言語発達との関連にについて，質疑応答が行われ，言語面からの考察の必要について意見がのべられた．（小田原女子短大　児玉）

その他，活発な意見があったが，ここでは省略する．

（津守　真）

213～217　発　　達

座長　品　川　不二郎・末　利　　博

213 児童における知的関心と思考の発達（続）
—疑問を通して—
大阪市立桃谷小学校　南　　徹　夫

214 20年間における日本の児童の知能の推移 1
—（その 1）WISCにおける 5 歳児，9 歳児，11歳児の場合—
小田原女子短期大学　児　玉　　省
〃　西　片　　栄
東京学芸大学　品　川　不二郎
東京成徳短期大学　○中　田　カヨ子

NII-Electronic Library Service